



平成29年度

12月号

12月 1日発行

# 駒林小 学校便り

## 変わる学び・つながる学び

校長 柴田 篤志

11月18日(土)にフェスティバル駒林が予定通りに実施されました。今年度は、各クラスの発表と学年の音楽発表がありました。発表内容と時間や場所が書かれたパスポートを見ながら、全クラスの発表を見て回るのは至難の業でしたが、子どもたちの笑顔と一生懸命取り組み、輝いている姿を見ることができ、とてもうれしくなりました。事前に、「伝えたいことが伝わるように工夫してみよう」と話しましたが、相手意識と目的意識をしっかりと持ちながら、クイズや実演などいろいろな工夫がされていることに感心しました。当日は、家族や親戚、地域の方々、卒業生や今まで駒林小学校に勤めていた職員など多くの方が参観に訪れたことで、子どもたちの活気と熱気に満ち溢れた一日となりました。

11月22日(水)に港北区一斉授業研究会が行われました。本校では、「情報・視聴覚教育」の授業を3年2組と6年2組で公開しました。3年生は、体育の跳び箱運動の授業を行いました。子どもたち同士、タブレットを使って友達の動きを撮影し、自分のめあてが達成できたかを確認します。また、タブレットに保存されている模範となる映像資料と自分の動きとを比較し、よりよい動きのイメージを持ちながら、自分のめあてを設定する姿が見られました。タブレットを使うことで、友達同士の教え合いがより明確なものになりました。6年生は、視聴覚室のパソコンを使って、プログラミング学習に取り組みました。「プログラミング」は、今後の社会の変化に対応するため

に、次期学習指導要領で小学校段階からの実施が予定されています。今回は、本校PTA会長の波多江さんの力をお借りして、プログラミングの学習に取り組みました。1回目の授業



では、初めての取組に戸惑う子もいましたが、回数を重ねるにつれ、どの子も夢中になって取り組めるようになってきました。プログラミングの基本を学んだ子どもたちが、自分でアレンジして取り組むこともできるようになり、子どもの適応力の高さに感心しました。

11月24日(金)日吉台西中ブロック 三校連絡協議会が行われました。日吉台西中学校の全クラスで道徳の授業を公開し、下田小学校と駒林小学校の教職員が参観しました。そのあとで、「9年間で育てたい子ども像」という視点で研究協議を行いました。小学校と中学校が共通の子ども観に立った話し合いができ、実りある会となりました。3校では、輪番で授業を公開し、合同授業研究会を行っています。

社会が多様化していくことに対応し、子どもたちの学びも変化していきます。その学びが子どもたちの生きる力となって、自らの人生を拓いていくことを望んでいます。